《学校・家庭・地域をつなぐ「学校だより」》 **令和８年度11月号**【丹波篠山市立西紀小学校】

和輪話 にしきのわ

～地域が育て，地域が育つ学校～

西紀小学校
〒669-2716
兵庫県丹波篠山市乗竹650
TEL：079-593-0024
FAX：079-593-0249
Email：el-nishiki@school.sasayama.jp
（文責：藤原典英）

「もう一歩」を選ぶ自分～マラソン記録会に向けて～

昨年度の12月号で，マラソン記録会に向けた４つのフェーズについて書きました．「走ることを楽しむ」「自分と対話しながら走る」「仲間のがんばりを見つけながら走る」「これまでの自分のがんばりをふり返りながら走る」の４つです．そして，自分と向き合いながら走り切ることが出来たなら，記録が目標に届いても，或いは届かなくても，自分の成長を実感することが出来る，とお伝えしました．

本年度のマラソン記録会は，12月１日（火）に行います．今回，そもそも「私たちは，なぜ走るのだろう」という問いを子どもたちに投げかけ，共に考えていきたいと思っています．

私も最近，時間を見つけて近所を走る様にしています（ウォーキングになることも多いですが）．走っていると，必ず「しんどい」と感じる瞬間が訪れます．息が上がり，わき腹が痛くなり，足が少しずつ重くなっていきます．そして，「もう歩いてしまおうか」「ここで止まっても，誰も責めはしない」という声が，自分の中から聞こえてきます．大人であっても，この声に抗うのは簡単なことではありません．その時，もう一歩を踏み出すのか，それとも足を止めるのか．その選択は，誰かが代わってくれるものではありません．先生も，友だちも，沿道から声をかけてくださる方も，背中を押すことは出来ても，その一歩を代わりに踏み出すことは出来ないのです．選ぶのは，自分自身です．

昨年度，「マラソンはつまるところ個人競技です」と書いたのは，まさにこのことでもあります．スタートラインには全員が並びますが，走り出してしまえば，しんどさと向き合うのは一人ひとりです．だからこそ，そこで踏み出した一歩は，誰のものでもない，その子自身の一歩になるのです．

私は，走ることの意義の一つはここにあるのではないかと考えています．しんどい時に「もう一歩」を選ぶことは，「こう在りたい」と願う自分を，自分の足で選び取る練習になっているのではないでしょうか．「最後まで走り切る自分で在りたい」「昨日より少しだけ遠くまで行ける自分で在りたい」――そう願う自分と，「もうやめたい」と感じる自分とが，心の中でせめぎ合います．その間で揺れながら，それでも一歩を選ぶ．その経験の一つひとつが，自分を信じる力の根っこを養っていくのだと考えています．

本年度，西紀小学校は「『在りたい自分』を創り，『在りたい未来』を拓く～自分の主人公として，共に学び・共に歩む～」を学校教育目標に掲げています．「在りたい自分」は，ある日突然出来上がるものではありません．日々の小さな選択の積み重ねの中で，少しずつ形づくられていくものだと考えています．朝，布団から出るか，もう少し眠るか．宿題に向かうか，後回しにするか．困っている友だちに声をかけるか，ためらうか．私たちは毎日，気付かないうちに数え切れないほどの選択をしています．その一つひとつは小さくても，積み重なった先に「自分」という姿が現れてくるのではないでしょうか．

マラソンの「もう一歩」は，そうした日々の選択を，体全体で味わうことの出来る貴重な機会なのだと感じています．しんどさの中で選んだ一歩は，頭で考えるだけの選択よりも，ずっと深く体に刻まれます．記録会で走り切ったという実感は，いつか別の場面で「もう一歩」を迫られた時，きっと子どもたちを支えてくれるはずです．

勿論，その一歩の大きさは，一人ひとり違ってよいのです．体の大きさも，走ることへの得意不得意も，その日の体調も，一人ひとり違います．誰かと比べた速さではなく，昨日の自分より少しだけ前へ，と自分で決めることが大切です．時には，足を止めて呼吸を整えることが，次の一歩につながる日もあるでしょう．それもまた，自分の体と心に耳を傾けた上での，立派な選択だと考えています．昨年度お伝えした「自分と対話しながら走る」ことは，自分にとっての「もう一歩」がどこにあるのかを見つける営みでもあるのだと思います．

12月１日には，もう一歩を選ぶ西紀っ子たちに，温かい応援をいただけましたら幸いです．併せて，沿道での見守り・応援をお願い出来れば大変助かります．御理解と御協力を何卒宜しくお願い致します．

◎参加者全員でつくる発表会～西紀っ子 学習発表会によせて～◎

11月13日（金）に，「西紀っ子 学習発表会」を行いました．どの学年も，日々の学習で深めてきたことを，劇や音読，調査報告等，それぞれの形で表現してくれました．

発表は，前に立つ者だけでつくるものではないと考えています．聴いている人が表現を受け取り，うなずいたり，笑ったり，考え込んだりと反応を返すからこそ，完成となります．当日の発表を観ていて，子どもたちの表現が，それまでの学習よりも一段階も二段階も高いところへ上がっていったのを実感しました．

１年生は，大好きな家族を元気にしたいという思いを，体いっぱいの動きと元気な歌声で真っ直ぐに届けてくれました．２年生は「ニャーゴ」で，音読で深めてきた言葉に表情や動きを重ね，役になりきっていました．３年生は「サーカスのライオン」を，登場人物の心情を読み解いて自分たちで台本にし，気持ちを声に乗せて表現しました．４年生は，宮田川の生き物や水質，ホタルについて，自分たちの手で学んできたことを発表しました．５年生は「注文の多い料理店」を劇として表現し，セリフや身体表現，舞台装置等にこだわり，見ている私たちまで物語の中へ巻き込んでくれました．

６年生は，10月の修学旅行で訪れた広島平和記念資料館の展示や，語り部さんのお話から受け取ったものを，自分たちで脚本にして届けてくれました．脚本の言葉の一つひとつに，平和への思いと，一人ひとりの願いが込められていました．私たち大人も，その言葉を重く受け止めなければならないと感じています．

語り部さんは，ご自身の体験や受け継いできた記憶を次の世代へ手渡すために，語り続けておられます．６年生はその思いを受け取り，今度は自分たちの言葉で，下級生や保護者・地域の皆様に手渡してくれました．６年生はあの日（修学旅行で学んだ日）の語り部さんと同じことをしてくれたのだと思います．そして，手渡されたものは，受け取る人がいてはじめて次へとつながっていきます．会場で耳を傾けた全員が，その受け取り手だったのだと考えています．

発表会の最後には，全校合唱を行いました．全員の力強い歌声とハーモニーに，その場に居た全員が心を打たれました．表現することは，生きていることの証である――そのことを，発表会の最後に皆がひとつになって実感することが出来ました．

学習の成果を表現するのは発表する子どもたちですが，その学びの最後のまとめは，会場にいる全員でつくるものです．だからこそ，学びを一層深めて終えることが出来るのだと考えています．本年度の学校教育目標にある「共に学び・共に歩む」姿が，あの日の会場には確かにありました．

お忙しい中，足を運び，子どもたちの表現を温かく受け止めてくださった保護者の皆様，地域の皆様に，心より感謝申し上げます．有難う御座いました．

※各学年の発表の様子等は西紀小学校のホームページをご覧下さい→https://nishiki-el.sasayama.jp/






上記２次元コードからもアクセス出来ます

△12月の行事予定▽

１日（火）	マラソン記録会10:40～
	個人懇談会１日目
２日（水）	個人懇談会２日目
	マラソン記録会予備日
４日（金）	代表委員会
７日（月）	全校朝会
９日（水）	朝のお話会
10日（木）	歯科保健指導
	※歯科衛生士さん来校
14日（月）	全校朝会
17日（木）	クラブ活動
18日（金）	代表委員会
21日（月）	音楽朝会
22日（火）	給食最終日※全校終会12:35
23日（水）	大掃除※全校終会11:35
24日（木）	終業式※全校終会11:35







◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい．
右の2次元コードを読み取っていただくと，フォームにつながります．
または，学校でお話をうかがうことも出来ます．いつでもお越しください．